〔学科目区分：ピアノ調律／ヴァイオリオン製作／ギタークラフト／ドラムカスタマイザー／管楽器リペア〕

番号：学科目名	206	管楽器リペア実習　１年	24単位 16単位	通年
指導講師	管楽器リペア科指導講師			
授業のテーマ	管楽器リペア科専攻生の必修授業です。工具作りから始まり、フルート・クラリネット・サックス・トランペット・トロンボーン・ホルンの基本的修理技術と軽修理を学びます。 本音楽院では本物の修理技術を身につけ、かつ楽器を正しく演奏できるリペアマンの育成を目標にしていますので、同時に演奏授業履修が可能です。			
受講対象	管楽器リペア科１年生の必修科目。 管楽器リペア科以外の方の履修は副科扱いになります。			
授業計画及び内容	工具知識、商品知識、木管・金管楽器の機能と構造 ▼前期（５月～９月） 工具製作　基礎実習（ヤスリがけ・ハンダ付け等）管楽器メンテナンス法 管楽器の分解と組立（フルート・クラリネット・サックス・トランペット・ホルン） ▼後期（１０月～２月） フルート・クラリネット・サックス・トランペット・トロンボーン・ホルン等の修理実習 授業内に実技試験、後期試験期間に筆記試験を実施いたします。 ※管楽器リペア科では指定授業時間以外にも自主作業ができ、 　社会人の方でも無理なくご自身のペースで技術を習得できる環境です。			
教材・参考書	リペア工具及び消耗品の購入。（詳細は募集要項を参照してください。）			
成績評価の方法	出席、筆記試験、実技試験、学習姿勢を総合的に評価。			
履修上の指示事項	作業しやすい服装。			

〔学科目区分：ピアノ調律／ヴァイオリオン製作／ギタークラフト／ドラムカスタマイザー／管楽器リペア〕

番号：学科目名	207	管楽器リペア実習　２年	24単位 16単位	通年
指導講師	管楽器リペア科指導講師			
授業のテーマ	管楽器リペア科専攻生の必修授業です。各楽器の全修理（オーバーホール）を目標に実習します。 ひとつの楽器を集中的に実習したり、軽修理を中心に総合的な技術を身につけたりと、各自の目標に合わせた自由課題を組み立てることも可能です。 １年次に引き続き、演奏授業の履修ができます。			
受講対象	管楽器リペア科２年生の必修科目。 管楽器リペア科以外の方の履修は副科扱いになります。			
授業計画及び内容	各楽器の修理実習 各自の目標に合わせた自由課題も可能 一種類の楽器を集中的に実習したり、軽修理を中心に総合的な修理技術を身につける。 木管楽器：全タンポ交換、バランス調整、キィ曲がり修正、管体割れ修正、より高度な調整方法を学ぶ等。 金管楽器：半田付け・ロウ付けを伴う分解と組立、ピストン・ロータリー・スライド抜き差し管調整、管体凹み修正等。 授業内に実技試験、後期試験期間に筆記試験を実施いたします。 ※管楽器リペア科では指定授業時間以外にも自主作業ができ、 　社会人の方でも無理なくご自身のペースで技術を習得できる環境です。			
教材・参考書	リペア工具及び消耗品の購入。（詳細は募集要項を参照してください。）			
成績評価の方法	出席、筆記試験、実技試験、学習姿勢を総合的に評価。			
履修上の指示事項	作業しやすい服装。			

〔学科目区分：ピアノ調律／ヴァイオリオン製作／ギタークラフト／ドラムカスタマイザー／管楽器リペア〕

番号：学科目名	208	管楽器リペア実習　副科	12単位	通年
指導講師	管楽器リペア科指導講師			
授業のテーマ	管楽器リペア科専攻生以外の学院生で管楽器の修理やメンテナンスに興味があるなど、専攻生以外の方でも副科授業として履修することができます。ウィンドオーケストラ科の学院生は勿論、ピアノ調律科の学院生も将来楽器店への就職を考えた場合、より一層の技術を習得しておくことは大変有利です。			
授業計画及び内容	各自選んだ楽器の修理実習 工具知識、商品知識、木管・金管楽器の機能と構造 工具製作（ヤスリがけ、ハンダ付け等基礎工作） 管楽器のメンテナンス法 木管楽器：タンポ交換、バランス調整、ジョイントコルク交換等 金管楽器：ピストン・スライド・ロータリー・抜差管調整、ハンダ付け、管体凹み修正等 ２年間継続して履修することが望ましい。 自分が好きな楽器の修理だけに集中することも可。 ※副科２８０，０００円 ※工具／教材については本科金額に準ずる（1年目：19万、2年目：10万）。 ※授業参加の時間帯は【18：00～21：00（夜間部）】とする。			
教材・参考書	リペア工具及び消耗品の購入。（詳細は募集要項を参照してください。）			
成績評価の方法	出席、学習姿勢を総合的に評価。			
履修上の指示事項	作業しやすい服装。			

〔学科目区分：ピアノ調律／ヴァイオリオン製作／ギタークラフト／ドラムカスタマイザー／管楽器リペア〕

番号：学科目名	209	マウスピースと楽器の仕組み～楽器が鳴らないのは楽器のせい	２単位	集中講座
指導講師	中川 喜弘			
授業のテーマ	リペアマンとしての、トランペット（楽器）基礎知識。 “鳴る楽器”の仕組み（組み立て方）			
授業計画及び内容	クラシック音楽の楽器　ｖ．ｓ　ジャズポップスの楽器の違い 西洋人・東洋人の骨格、体格、歯並びによる、マウスピース各部の違い 全く未開発の、日本人の為のトランペットマウスピースの構造 今後の日本人の為の管楽器・マウスピースのあり方 誰も言わなかった　“マウスピースのツボ” 現場ミュージシャンが考える、日本人のトランペットの将来とリペアマンのあり方 （受講者は上手い下手を抜きにして、少なくともトランペットにトライして頂きたいですね）			
教材・参考書	中川喜弘のマウスピース相談会　ブログからの抜粋　http://blog.nakagawa-music.net/ この“歯並び”　に　このマウスピース　現在までの相談者　個々人の歯並び（写真）とマウスピース選択 楽器の振動伝達　共振のツボ ●消耗品は実費徴収いたします。（マウスピース代として８，０００円前後）			
成績評価の方法	学習姿勢と意欲、実技による評価。			
履修上の指示事項				